



子どもたちに安心して学べる環境を！

# ネパール 防災能力強化事業募金



2015年に発生した大地震は、ネパールの47,700以上の小中学校に被害をもたらしました。現在多くの学校で使用されている仮設校舎は耐久性が低く使用できなくなっています。

防災に関する教育も望まれています。ある教員は「震災時は教員がパニックになってしまった。まず教員がトレーニングを受け、生徒に防災知識を教える必要がある」と話していました。震災から時を経た今も、震災当時のことを思い出して不安な気持ちになる子どももいるようです。

シャンティ国際ボランティア会は、未だ復興が進んでいないヌワコット郡の農村部にて小学校校舎建設、図書活動を通じた心のケア、学校や地域の防災教育を行います。安心・安全な学びの環境を子どもたちに提供するために、ご協力を宜しくお願い致します。

ヌワコット郡

首都：カトマンズ



公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会

電話 03 (5360) 1233

FAX 03 (5360) 1220

〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3F

<http://www.sva.or.jp>

Email: [info@sva.or.jp](mailto:info@sva.or.jp)

# ネパール

## 防災能力強化事業とは？



2015年4月25日に発生した大地震から二年半以上が経った今も、復興の進みは遅く、現在も多くの子どもたちが寿命を迎えた仮設校舎で学んでいます。またネパールでは防災教育が普及しておらず、今後起こりうる災害への知識不足が懸念されています。

### 課題1 仮設校舎で学ぶ子どもたち



多くの仮設校舎は寿命を迎えており、耐震性のある校舎の早期建設が望まれています。

### 課題2 子どもたちの心のケア



子どもたちの中には震災当時のことを思い出して不安な気持ちになる子もいます。

### 課題3 防災知識の不足



教員からも「地震発生時にどのような対応をとるべきかわからなかった」という声が聞かれました。

これらの課題に対して、シャンティでは下記の活動を行います。

### 活動1 被災した学校校舎の建設

### 活動2 図書活動を通じた子どもの心のケア

### 活動3 学校や地域での防災教育の普及

#### 【児童・教員の声】

「地震で建物が崩れていくのを見た。学校がなくなってしまうのが心配」(12歳女性:5年生)

「教員ですら混乱していた。パニックに陥った子どもたちをどう落ち着かせればよいかわからなかった」(26歳女性:小学校教員)

#### 【ご支援方法】

- 1) 郵便振替 \* 郵便振替手数料免除  
お振込み先: 郵便口座: 00150-9-61724  
口座名: 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会  
\* 郵便振替用紙の備考欄に「ネパールサポート募金」とご記入ください。
- 2) 銀行振込  
銀行口座からのお振込の場合にはご一報ください。

【所得税及び法人税の優遇措置について】  
当会は特定公益増進法人です。募金には、所得税及び法人税上の優遇措置が適用されます。

※詳しくは、弊会東京事務所ネパール事業担当までご連絡ください。

公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会

電話 03 (5360) 1233

FAX 03 (5360) 1220

〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3F

<http://www.sva.or.jp>

Email: [info@sva.or.jp](mailto:info@sva.or.jp)